

株式会社 サンアンドホープ

I 法人の概要（令和4年4月1日現在）

- 1 所在地 北九州市門司区大字猿喰 1157 番地の 2
- 2 設立年月日 平成 9 年 6 月 5 日
- 3 代表者 代表取締役社長 中武 英一（令和 4 年 3 月 23 日就任）
- 4 資本金 270,000 千円
- 5 北九州市の出資金 12,000 千円（出資の割合 4.4%）
- 6 役員員数

	人 数			
	合 計	うち本市からの派遣	うち本市退職者	うちその他
役 員	7 人	0 人	0 人	7 人
常 勤	3 人	0 人	0 人	3 人
非常勤	4 人	0 人	0 人	4 人
職 員	50 人	0 人	0 人	50 人

II 令和3年度（26期）事業実績

(1) 事業の経過及び成果

当事業年度における我が国の経済は、国内外における新型コロナウイルス感染症の影響から、引き続き厳しい状態だったが、基調としては持ち直し傾向にあった。4月以降、先進国を中心に海外経済が堅調な成長を続けるもとの、国内は製造業を中心とする前向きの循環は途切れておらず、景気の持ち直し基調が続いた。8月には感染力の強いデルタ株の流行が急速に拡がる中で、景気回復基調が鈍化したが、感染の縮小に伴い9月末をもって緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が解除されたこともあり、個人消費に持ち直しの兆しが出てきた。一方当社の主要取引先であるホームセンターでは、前年同様新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛により、ガーデニングなどの需要が引き続き高まり、DIY資材などホームセンター業態が得意とする商品の販売が一段と伸長した。

このような中、当社でも好調なホームセンターへの売上が伸び、当該事業年度における営業成績は売上高1,868,402千円、経常利益18,311千円、当期純利益8,298千円と引き続き好調な利益を収めることができた。

(2) 設備投資の状況

老朽化に伴う機械等の改修以外に該当する事項はなし。

(3) 資金調達の状況

該当する事項はなし。

(4) 事業の譲渡、吸収分割または新設分割の状況

該当する事項はなし。

(5) 他の会社の事業の譲受の状況

該当する事項はなし。

(6) 吸収合併または吸収分割による他の法人等の事業に関する権利義務の承継の状況

該当する事項はなし。

(7) 他の会社の株式その他の持分または新株予約権等の取得の状況

該当する事項はなし。

(8) 対処すべき課題

新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては「巣ごもり需要」に伴うホームセンターの売上増加傾向が今後も続くかどうか不透明であることや、中国の肥料原料輸出にかかる法定検査の影響により、中国からの原料輸入量が減少していることから、今後の状況を十分に注視していく。また、新商品開発と販売力強化に取組み、企業理念である障害者雇用の拡大を図るとともに、安全で環境に配慮した製品の安定供給を行う事が重要な課題である。

(9) 財産及び損益の状況の推移

区 分	第24期 (令和元年12月期)	第25期 (令和2年12月期)	第26期 (令和3年12月期)
売 上 高 (千円)	1,644,919	1,788,796	1,868,402
経 常 利 益 (千円)	5,088	13,115	18,311
当 期 純 利 益 (千円)	2,813	8,677	8,298
1株当たり当期純利益 (円)	520.96	1,606.87	1,536.76
総 資 産 (千円)	1,048,186	1,113,672	1,154,160
純 資 産 (千円)	554,529	563,206	571,504

(10) 重要な親会社および子会社の状況

① 重要な親会社の状況

当社の親会社は株式会社ニチリウ永瀬で、同社は当社の株式を 81.85% (4,420 株) 保有している。当社は親会社より肥料の生産を委託され、これを納入している。

② 重要な子会社の状況

該当する事項はなし。

③ その他

該当する事項はなし。

(11) 主要な事業内容 (令和3年12月31日現在)

事 業 内 容	主 要 製 品
製造・販売 入出荷・配送業務	家庭園芸用肥料用土、園芸用資材、専業農家用肥料用土、家畜・養魚用飼料
販売 輸出入	肥料及び飼料（製造）、農薬、農器具、花卉、種子、球根、苗木、生花及び造花、園芸用品、工業薬品、薪炭、キャンプ用品、ペット用品、ペットフード（製造）

(12) 主要な事業所 (令和3年12月31日現在)

本社・工場 北九州市門司区大字猿喰 1157 番地の 2
関西工場 兵庫県加西市鶉野町 1262 番地の 9

Ⅲ 令和3年度決算

1 貸借対照表

令和3年12月31日現在 (単位:円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	944,224,970	流動負債	534,312,037
現金及び預金	121,086,455	支払手形	72,753,702
受取手形	165,770,953	買掛金	316,443,963
売掛金	375,639,528	短期借入金	84,012,000
商品	21,716,954	未払金	43,047,128
製品	109,143,396	未払消費税等	4,752,100
原材料	150,663,949	未払法人税等	6,962,600
立替金	30,800	預り金	4,459,867
前払金	851,830	仮受金	345,565
貸倒引当金	▲678,895	リース債務	1,535,112
固定資産	209,935,247	固定負債	48,343,520
有形固定資産	201,300,751	長期借入金	28,451,000
建物	146,860,904	退職給付引当金	13,770,000
建物附属設備	4,247,676	役員退職慰労引当金	3,564,000
構築物	3,538,710	リース債務	2,558,520
機械及び装置	42,505,131	負債合計	582,655,557
車両運搬具	1	(純資産の部)	
工具器具備品	712,457	株主資本	571,504,660
リース資産	3,435,872	資本金	270,000,000
無形固定資産	372,129	利益剰余金	301,504,660
ソフトウェア	1	繰越利益剰余金	301,504,660
電話加入権	17,600		
リース資産	354,528		
投資その他の資産	8,262,367		
出資金	10,000		
敷金・保証金	2,409,500		
長期繰延税金資産	5,405,661		
長期前払費用	437,206		
		純資産合計	571,504,660
資産合計	1,154,160,217	負債及び純資産合計	1,154,160,217

2 損益計算書

自 令和3年1月1日

至 令和3年12月31日 (単位:円)

科 目	金 額	
売上高		1,868,402,567
売上原価		
期首商品棚卸高	25,292,915	
期首製品棚卸高	83,677,718	
仕入高	794,469,737	
当期製品製造原価	798,320,781	
合計	1,701,761,151	
期末商品棚卸高	21,716,954	
期末製品棚卸高	109,761,099	1,570,283,098
売上総利益		298,119,469
販売費及び一般管理費		279,305,069
営業利益		18,814,400
営業外収益		
受取利息	82	
雑収入	424,953	425,035
営業外費用		
支払利息割引料	839,338	
雑損失	88,617	927,955
経常利益		18,311,480
特別利益		
貸倒引当金戻入	68,352	68,352
特別損失		
資産除却損	4,728,014	4,728,014
税引前当期純利益		13,651,818
法人税、住民税及び事業税		7,175,209
法人税等調整額		▲1,821,920
当期純利益		8,298,529

Ⅳ 令和4年度(27期)事業計画

新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては「巣ごもり需要」に伴うホームセンターの売上増加傾向が今後も続くかどうか不透明であることや、中国の肥料原料輸出にかかる法定検査の影響により、中国からの原料輸入量が減少していることから、今後の状況を十分に注視していく。また、新商品開発と販売力強化に取組み、企業理念である障害者雇用の拡大を図るとともに、安全で環境に配慮した製品の安定供給を行う。

Ⅴ 令和4年度(27期)予算

自 令和4年1月1日

至 令和4年12月31日(単位:千円)

科目	予算額	
売上高		2,102,466
売上原価	1,766,427	
売上総利益		336,039
販売費及び一般管理費	294,736	
営業利益		41,303
営業外利益		2,023
営業外費用	980	
経常利益		42,346

Ⅵ 役員名簿

令和4年7月1日現在

役職名	氏名	備考
代表取締役 (常勤)	中武 英一	株式会社サンアンドホープ代表取締役社長
取締役(非常勤)	金尾 佳文	株式会社ニチリウ永瀬代表取締役社長
取締役(非常勤)	徳永 祐治	株式会社ニチリウ永瀬取締役管理本部長
取締役(常勤)	大山 康彦	株式会社サンアンドホープ製造本部長
取締役(非常勤)	大曲 昭恵	福岡県副知事
取締役(非常勤)	稲原 浩	北九州市副市長
取締役(常勤)	岸田 敏和	株式会社サンアンドホープ管理部長